

# プロゴルフ観戦者におけるイベント会場内の滞留モデルに関する研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡辺, 泰弘 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003112">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003112</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 ス乙第8号

プロゴルフ観戦者におけるイベント会場内の滞留モデルに関する研究

(An Examination of Professional Golf Spectator Behavior: The Development of the Desire to Stay Model At a Golf Tour Tournament)

渡辺 泰弘 (わたなべ やすひろ)

博士 (スポーツ健康科学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文の特色は、ゴルフ場という開放的なイベント会場におけるゴルフ観戦者の滞留意欲に影響を及ぼす変数の関連について理論的枠組みを解明した点である。フットボールスタジアムやバスケットボールアリーナのように観戦者の行動制限が大きい閉鎖的空間での観戦者行動については観戦者の満足感などを独立変数として解明を試みた研究は多い。本研究では、「滞留意欲」という新しい変数を Wakefield and Sloan (1995) の仮説モデルを参考に、開放的なイベント会場における観戦者行動の理論構築を行っており大変意義ある研究となっている。

スポーツ観戦者行動研究は、サッカーや野球、フットボールなどを中心に数多くなされているが、プロゴルフ観戦者に対する実証研究はきわめて少なく、マーケティングマネジメント視点での知見は非常に有用といえる。特に、ホスピタリティ概念を基盤としたコトラー的な滞留意思に着目した点は、満足度調査に偏向してきた観戦者行動研究に一石を投じたといえる。

実証研究の結果に加え、先行研究との関係に基づく論理的な考察が試されており、また、従来の研究では明確でなかった開放性の高いイベント会場における観戦者の滞留意思および滞留行動に影響を及ぼす要因について理論的に説明することが可能になった。

よって、本論文は博士 (スポーツ健康科学) の学位を授与するに値するものと判定した。